暖かい家が一番！

竣工から1年。家にいる時間が長くなったという建て主のNさん夫妻。1階と2階、水廻りや玄関など、どこを行き来しても寒さや冷えを感じることがない。冬の暖房費は、1万5千円／月程度（給湯＋調理除く）。寒さのストレスも家計の負担も少ない快適な生活に満足している様子だ。

取材を終えて、外に出たときのキリっとした冷たい空気を気持ちよく感じたのは、家の中にいて体が温まっていたからだろう。十分な断熱性能を確保し、設備に頼りすぎず、できるだけ少ないエネルギーで暮らしや環境に合った全室冷暖房を実現すること――札幌に限らず、どの地域でも共通する省エネ住宅の望ましいあり方であろう。省エネと快適を両立する「札幌版次世代住宅基準」は、脱炭素時代の家づくりとして参考にしていきたい。

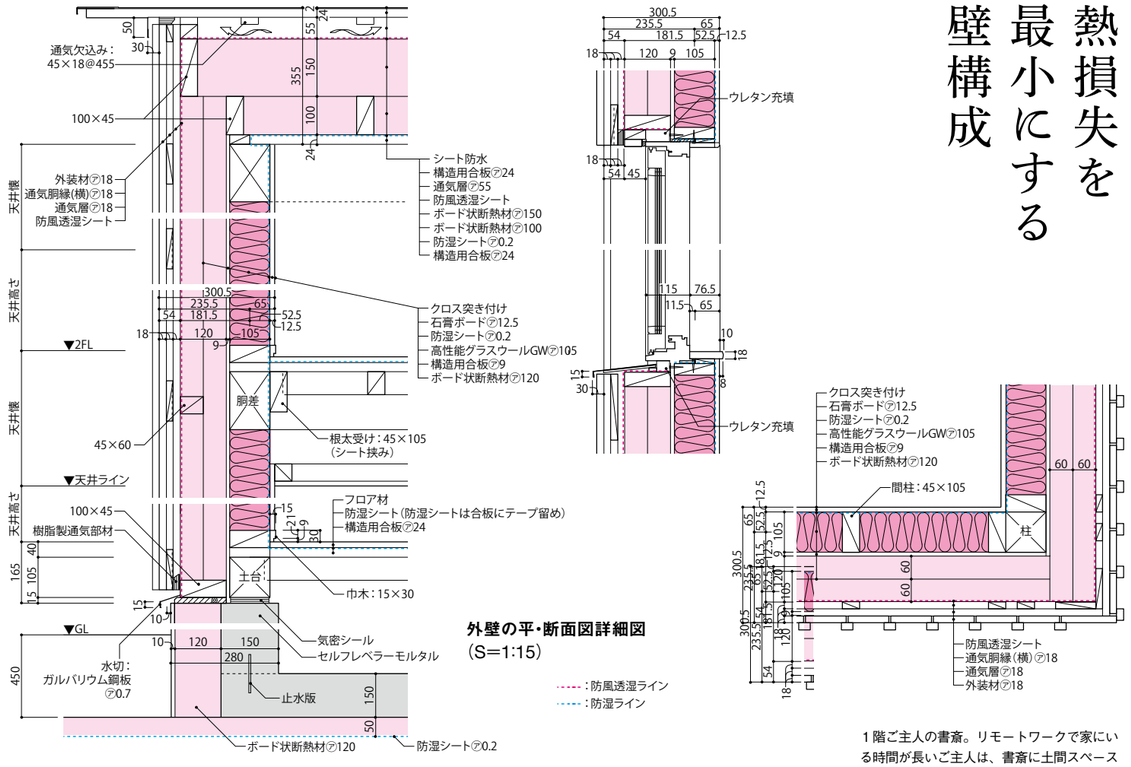
上2点／格子状の柱で階段室とゆるやかに仕切られたLDK。寒さを感じたときには、リビングのペレットストーブに火を入れる
下／道産カラマツ集成材を使って3間のスパンを飛ばした無柱空間のLDK。札幌版次世代住宅基準（プラチナグレード）は、数値だけでは表しきれない快適さをかなえてくれる

Information

札幌市都市局市街地整備部住宅課
Tel.011-211-2807
「札幌版次世代住宅基準」の詳細はこちら▶

第9回日本エコハウス大賞に新設された自治体賞では、「札幌版次世代住宅基準」のブロンズ以上を満たしている住宅（対象は全国）を募集しています。詳細は32ページをご覧ください。

熱損失を最小にする壁構成



外壁の平・断面図詳細図
（S=1:15）

1階ご主人の書斎。リモートワークで家にいる時間が長いご主人は、書斎に土間スペースを設けて、趣味の観葉植物を楽しんでいる